

2026 年 慶應義塾大学文学部小論文過

去問題解説

こんにちは。
牛山です。

この年は以下のような出題内容でした。

〈設問 1〉

課題文を要約せよ。

この年の問題は今までの要約方法と異なるアプローチを採用する必要もあります。

原則として、課題文の内容の重要な部分を抜粋すれば
OK。

でもそれだけでは対応できません。

ポイントは、課題文の中にある $A=B=C$ と

というような関係を数学のように取り出せ

たかどうかです。

ココがポイント！



技術 $\Leftrightarrow$ 自然

現代の自然 $\Leftrightarrow$ カントが述べる自然

自然 $\Leftrightarrow$ 人為

自然 $\Leftrightarrow$ 自由 人為 $\ni$ 自由 自然 $\ni$ 人工

技術⇔アート 自然≡芸術

従って、AI は自然、芸術ではないか。

自然≡人工≡芸術

この関係を導出できる前提を列挙できたかどうか、
今回の答案の良い悪いを決めるポイントとなります。

科学技術的な営みの中にも本質的には芸術が含まれているように思われる。AI は自然の所産、芸術活動ではないか。

という主張が最後にありますが、ここに着地する前提を列挙する必要があったのですね。

解いて面白かった。良問です。

〈解答例〉

イマヌエル・カントの判断力批判では、技術という概念が自然との関係において議論され、規定されている。カントの言では技術は自然と区別される。カントにとって自然とは、現代的なそれとは異なり、物理法

則に従ってひたすら作動するものである。また、カントの言では、自然と人為にも区別がある。人間は欲を持ちそういった欲求を持ちうることで、人間が自由であるということの意味である。従ってカントの中では自然と人工の間には対比はなく、自然と自由の間に対比がある。カントによれば、外部の特定の目的のために使用されるのが技術であれば、自分自身の中に目的があるのがアートである。カントは芸術は自然に見えるような技術であると述べた。科学技術的な営みの中にも本質的には芸術が含まれているように思われる。AI は自然の所産、芸術活動ではないか。

〈設問Ⅱ〉

自然とアートの関係について、この文章を踏まえてあなたの考えを自由に述べなさい。

現代的には、人を驚嘆させているのは、AI が恐らくは苦手でないかと考えられてきた音楽や絵、芸術的な作品生成が、急速に進んでいることである。この歌に大変共感した！というユーザーは AI 生成であるこ

とを知らなかったというケースもある。この点においてカントの言とは矛盾する現象があるように思われる。しかし現実には、ある研究者は、AIの共感は見せかけであると述べている。つまりAIは人間が共感する内容を出力することができることがあるが共感して生成しているわけではないということだ。AIは人間を幸せにしたいと心から義務として出力しているのではなく、ユーザーの満足を実現するようにプログラムされているために自分が希望する自由な範囲で共感的な内容を出力している。カントが述べた言は妥当なのか。AIは自然であり、自由である。一方でAIは内的な目的で芸術活動を行っていない。従って、カントの言は現代でも妥当であると考えられる。

今回の問題を解く上でヒントとなるのは課題文に書かれている AI 論です。

その前に・・・そもそも問題の解き方として、自由に問いを設定できるとしても、課題文に対して賛成か反対かを述べるできないかという視点は極めて重

要なのです。

ココがポイント！



小論文はイエス・ノーを書く文章であるは妥当か？

小論文の書き方で有名な H 先生は大学の教員でもありましたが、小論文はイエス・ノーを書く文章と述べていました。

文学部出身の人です。

今回の問題にマッチするでしょう？

つまりね、その人のバックグラウンドによって、小論文とはこうだという定義が違ったりするのですよ。それで、多くのケースで汎用性はない。

つまり、どの学部にもキク小論文の書き方は、牛山の指導をのぞくと、あるはあるけど、定式化はされていないという印象です。

なぜならば、問題のパターンごとに、本当に点数が取れる方法を牛山はまとめて体系化して、書籍として出版していますからね。

これって実はでかいのです。

原因論法のようなダメな方法信じすぎ問題

例えば原因論法を法学部で書く、終わりです。

チーン、終了。不合格確定みたいなイメージです。

なぜってそれはそもそも論文の書き方ではないですからね。

ではS F Cならよいのか？

そうですね。問題にめぐまれている、他の受験生のレベルが低いと受かることもあるかなという印象。

でも思考プロセスが間違っているのだから、点数が取れない。

こういう現象は外から素人が眺めても分からない。

だから原因論法で間違った思考方法で間違った出力をする受験生が爆増。

その受験生は他の大学も受けるでしょうから、かわいそうに。

大学を受ける前に間違った思考法を仕込まれて、それらのマーチなどの大学も下手すりゃ全滅ですよ。

それくらいひどい小論文解法を学んでいることに当の受験生が気づいていない。

これってもはや社会問題的な有害的事象なの。
でも受験生は知らない、分からない、なんで？どこが？となってる。
大学教員は警鐘を鳴らしている。

論文を書きなさい。問いと向き合いなさいって。

でも問いなんかと多くの受験生は向き合っていない。
構文に文章あてはめっこゲームをしているから中学校レベルの作文教室内容で、しかも中学1年生が大変よくできましたみたいな評価をもらう程度のことをやって、慶應義塾を受けているんだからね。

それで、慶應義塾に受かっている人がいるんだからとか不合格者が多いことに気づかないで判断ミス。
慶應義塾って何なのかな・・・ってくらい今受験生のレベルが急落していると思います。

その理由はどこにあるのか。

レベルが低いことを教える教育にあります。

レベルが高い教育機関では何が 教えられている？

私がかつて大学院に入学した時、最初に習ったことは、「私は君たちの意見を聞きたくない」という学長の痛烈なメッセージ。

これが原因だとおもう、こっちが原因だとおもう、いいえ、これこれが原因だとおもう、

いいえ、私のが正解ですわ、
僕が正しいんだよ。

私はこれが原因だと思うな

みたいなことはヨソでやってくれということです。

少なくとも大前研一門下生ならば、マッキンゼー社のボスをやった大前先生的には、寝言は寝て言えって感じだったのでしょうか。

どうすれば、正しい結論を導くことができるのかを熟考せよ

ということだったのです。

私たちは常に情報不足。手に入る情報も限られている。

だから無理なのか？

これが原因だと思うって書くならそもそも教育なんていないんだわ。

このような情報不足の中で意思決定する性質のことを限定合理性などと言います。

ハーバート・サイモンというノーベル経済学賞受賞者が提唱した概念です。

それでもより一層きちんと考えることができないならば、少なくともあなたは頭がいいなんて自己主張はできないと思いませんか？

私は慶應義塾出身です。

で、これからプレゼンしますが、これが原因だとももう。

これが原因だとももう。

これも原因だとももう。

従いまして、対策案はこうだとももう。

これで評価されますか？

何やってるんですか？って思われるでしょ。

それを今高校3年生のあなたが例えばやってみてごらんなさい。

それで受かる人もいるのかもしれない。

よほどレベルが落ちたのかな。

慶應生は東大生すら解けない問題を解く。

これは小論文でとる慶應だから起こりやすい現象で、完全に東大の下位互換大学でいいですと言い切った大学にはいない逸材なんだ。

それを地でいっていたはずなんだけど、

これが正解だとおもう、これが原因だとおもう
という大学になってしまったのかな？
あなたはどう思いますか？

あなたは知識0だからなんでも 信じる

ところで、このような書き方をあえてしたのは、注意喚起なんだよ。

例えば原因論法はだめなわけがないと強く思い込んで宗教のように信じ込んでしまった人は、

そもそもなんだけど、まだ学術を知らない。

論文の書き方はどうなんですか、基本構成をアカデミックライティングの視点から述べた上で、なぜそのような基本構成が妥当なのか、学問的見地から説明せよ。

こういうことを要求されて

「・・・・・・・・・・・・・・・・」(学部生)

となるのは普通なのです。

これを言えない博士課程の学生はまずいない。

誰でも博士レベルになれば、言えます。

あたり前中のあたり前ですからね。

論文に対する問題意識、先行研究の体系的レビュー、
リサーチギャップの提示、リサーチクエスチョン・・・・・・・・

という具合に、小論文にはない何個も掘り下げた概念をすらすら言えるのは、最低限の基本中の基本なのですよ。

でもこういう学問的素養が無い若い受験生は、小論文をどのように書くべきなのか、それはなぜなのかを全く知らない。

だから、何でも信じる。

誰でも信じる。

間違ったこともすぐに信じる。

ここまでに紹介したように、明らかなる間違い、明らかに妥当な結論に至ることができない致命的な思考の欠陥がある思考方法を分析などと称して、得意げに答案を書く。

これがいかにレベルが低いことなのかを知らないし、分からない。

だからこれは、中学1年生の作文教室初日だったら許されると言っただけです。

中学1年生の作文教室ならば、「よく書けましたね」とまず褒めることが恐らくは重要。

何か取り組みをしてとにかく書くことができたならほめまくってもいい。

でもあなたはもう高校3年生なのでしょう？

なぜ構文にはめるようなことをしているのでしょうか？

それで、受けるのが全員合格大学ならよいかもしれませんが。

しかし、あの福澤諭吉が創設した、日本のオックスブリッジと呼ばれる慶應義塾を受験するのでしょうか？

なぜ自分の知性を磨こうとしないのか、なぜきちんとしたことを学ぼうとしないのか、なぜ問題と向き合い、出題者の問いに知性的に回答しようとするのか、

なぜ構文に逃げて必殺技のようなもので大学教員という高度専門職の我が国の一級のインテリジェンスを前にして、舐めプのようなことをしてしまうのか、

私にはよくわからないのです。

出題者に対する敬意に欠け

学問的態度も欠け

自主的に勉強しようとする意欲にも欠け

ていると思いませんか。

このような態度を教育者もとることを、筑波大学の名誉教授は見抜いていました。

その上で、模範解答として提示されている内容が、「その場逃れである」と述べているのです。

その場逃れとはどういうことか。

試験だけ受かればいいという安直な
態度姿勢なのですよ。

今 AI で解答例を作成する会社がある。今外注で模範
解答を用意する会社もある。

でも、牛山は、AI では解けない問題をきちんと自分
で解いている。

このことの意味、分かってほしいなと思います。

----ここから落ちやすい考え-----

試験だけ舐めプでもなんでもいいからとりあえず突破
できればいいし、どうせ舐めプ的構文解法でも、大学
側は、合格にきっとさせるさ、

慶應義塾は日本最高のインテリジェン
ス・・・・?????

というか、大学教員ってそんなにすごいのかな、自分
が書いた原因が正しいのだから自分のインテリジェン

スがすごいってことで、これがつまり正解、つまり自分が正解なんだから原因がこうだと思うという思っていることに価値がある。

なぜか、他の人が思っていることに価値はないけど、僕は私は違う、特別人間、特別頭がいいから、その特別人間が思っていることは正解であり価値がある、なぜなら自分には自信があるから、他の人はあまり頭がよさそうではないし、自分は頭がいいと思うから、この思うという原因についても思っていることに価値があり、そもそも正解なんだからガタガタ言わないでほしいな、これが伝われば、つまり大学にも認められるというか、頭がいい称号みたいな合格切符がもらえるってことでいいのかなって・・・

———ここまで落ちやすい考え———

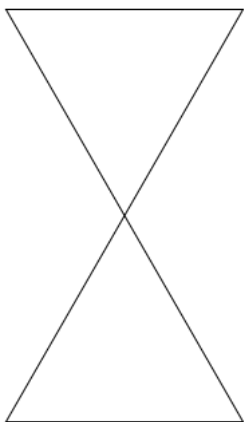
こんな風に考えてる？

原因論法にしても、致命的な欠陥がある論文教育の根本要因の一つは、論点の思考がないということなんです。

理解できれば点数がドカンと上がる論点思考

少しだけ難しい点について話すので理解できなくてもいいけど、ここが理解できると劇的に点数が上がります。

僕が高得点小論文解法集を書いた時、以下のような図を紹介したんだ。

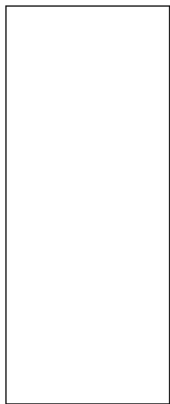


これは何を意味しているかというと、どこまで議論を広げていいかを示した図なんだ。

一つの論文の中で広く議論を取り扱いながら、だんだん焦点化していき、一つの論点に議論を集約させ、その仮説検証を行った後、再度議論を広げて学術的貢献につなげていくという概念図なんだ。

原因論法っていうのはね、以下のような構造になって

いる。



テーマで書いているんだよ。テーマで書いているのを
作文と言います。

だから小学生には作文が課される。

高校生に作文を書けとは言わないし、東大入試で作文
試験というものもない。

もう作文は小学生で終わってください。

大学に入るなら論文を書くことができるようになって
くださいということなんだ。

論点があるから論文なの。

論点がないのを作文・エッセイと言います。(これは広く大学教員が好んで文章を否定する際に用いられる比喩的表現なんだ。エッセイだねこれは・・・と言われた時最大級にバカにされていると思っていい。まあ、主観と言えば主観的なところもあるので、かつての大研究者がエッセイ的論文を書いていないかと言えばそうでもないのだけど、とりあえず、知識人の仲間入りをしたいならできないとダメなこと、わかっていないとヤバイことなんだ。)

ここまでの内容を踏まえて、AI 生成の解答例を見てみよう。

———ここから———

設問 I 解答例

人工知能の発展は、「知能」や「知識」とは何かとい

う古くからの問いを改めて浮かび上がらせた。従来の AI は、世界を記号化し、専門家の知識を規則として与えることで問題を解こうとしたが、フレーム問題に直面した。今日の AI はニューラルネットワークにより自律的に学習するが、その判断過程は人間にも見通しにくい。さらに、AI を考えることは、人工と自然、技術と自由、技術と芸術の関係を考えることにつながる。技術は自然と対立するだけではなく、自然を利用しつつ自然に働きかけ、時に人間の意図を超える。芸術もまた技術と共通する側面を持つ。ゆえに自然と技術は単純な二項対立ではなく、互いに照らし合う関係として捉える必要がある。

約 301 字

設問Ⅱ 解答例

私は、自然と技術は対立するものではなく、互いに入り込みながら成り立つ関係だと考える。技術は人間が目的を実現するために作り出すものだが、その材料もエネルギーも自然に由来し、作動の仕組みも自然法則

から離れることはできない。一方、技術は自然を加工し、人間の生活環境を変え、ときには自然そのものの見え方まで変える。たとえば AI も人工物であるが、人間の脳を手本にしながら発展し、今では人間が判断過程を完全には説明できない場合もある。これは、人工物だからすべて人間の意図どおりに制御できるとは限らないことを示している。だから重要なのは、自然を技術の反対側に置くことではなく、技術も自然の一部を利用し、その中で働くものだとして理解することである。その上で、技術が自然や社会にどのような影響を与えるかを検討し、人間の目的だけでなく長期的な環境への影響まで考えて用いるべきだ。

———ここまで———

この内容は 50 点くらいです。50 点以下かな。
つまり、2026 年時点では、慶應大学文学部の問題に、まだ AI は対応できていない。

説明問題については、今回のポイント解説で言及した点を踏まえることができず、ロジックを追うことができていません。

また、論述問題については論点が散漫で一貫性が無く、出題意図に対応できておらず、問題意識にも対応できていない、応答内容が、問いに対応していません。課題文内容も踏まえていない。

したがって、50点いかない・・・でもまったくおかしくありません。

小論文を学ぶと言っても、何を教わっても、学ぶことになりますよね。

あなたはどの塾・予備校で何を教わっても、一生懸命がんばったんだ。

でもね、

レベルが低いことや間違ったことを教わっていたら、あなたの点数は伸びていかないよ。

どれだけあなたが練習しても、自分が先生、間違った手本、間違った思考回路、妥当性の低い考察、

そういうことをやっていたら、レベルが低いやり方で
たくさんたくさん練習して、レベルが低くなりました
た・・・

という非常に笑えない結果となる。

これが練習の原理原則なんだ。

慶應大学にきちんと合格したい人、文学部や法学部を
含めて受験する人は、これらの問題に対応できる小論文
を学んでください。

とりあえずお金を書けたくない場合、牛山 恭範が書
いた小論文の本を読んでください。

**オンラインで情報を集めるのもいいけど、9割点数が
取れない人の意見を消したら、オンライン上にあるほと
んどの意見は99.9%パッと消えます。**

つまり、多くの人は点数が取れない人の意見に振り回
されて、自分の勉強の指針を立てているということで

す。

点数を取れない人の意見を重視して、点数を取れない人の指導をなぞり、点数を取れない人の指導を信じて、点数が取れない勉強を進めます。

これが、オンライン情報環境による失敗の典型的パターンです。

点数と書いたのは分かりやすくするためであり、本当は論文を書けない人の・・・と読み替えてもあまり変わりません。



当塾の講師の簡単な経歴（牛山 恭範 Yasunori Ushiyama）

東京科学大学（第二東大構想より生まれた旧東京工業大学・旧東京医科歯科大学統合校）博士後期課程在学。全単位取得済み。（PhD Candidate）国際誌及び国内誌に論文掲載。（論文審査合格）BBT 大学院修了。（MBA）元マッキンゼー社代表であった大前研一学長より師事を受け、論理思考・問題解決思考を学ぶ。世界一の大学である MIT で博士号を取得した大前学長から間接的に世界一の学術的技術を学ぶ。慶應義塾大学 SFC 一発両学部（総合・環境）合格。慶應義塾大学を自主退学し、大学卒業者と同等以上の学力を認められ飛び入学で大学院に進学。東大卒・東大院卒・東大医学部卒・東大博士課程修了者・京大卒・東北大学医学部卒・筑波大学医学部卒・ソウル大学卒・早稲田大学院卒などの中で成績優秀者となる。（成績上位 5%）BBT 大学院修了。（MBA）慶應義塾大学在学中に起業し、現在株式会社ディジシステム代表取締役。小論文の著書・学習法の著書多数。（改訂版をあわせて約 45 冊）代表著書に『高得点小論文解法集』・『小論文の教科書』・『看護学部・医学部・看護就職試

『小論文対策を10日間で完成させる本』がある。自らが運営する塾の成果として、全国模試小論文成績全国1位の報告を3年連続でもらう・偏差値87.9への引き上げ・全国模試トップ・法科大学院次席合格などがある。平均約9割小論文で取れる講師・学部よりさらに難易度の高い博士課程入試でも9割程度の点数を取得する講師・自分の点数をオンラインで公開できる講師として活動。

複数の学校法人で小論文講師を経験。



写真：大学院修了時の記念撮影。肖像権に配慮。※左が牛山



写真：旧東京工業大学大学院博士後期課程の学生証



写真：牛山が運営する慶應義塾大学進学対策専門塾※
元教え子の辻本さんとの記念撮影。（慶應義塾大学4
学部合格、公認会計士試験ストレート合格）

(別紙様式第2)

長崎大学大学院経済学研究科入学試験個人成績開示通知書

平成30年 2月 26日

牛山 恭範 殿

長崎大学大学院経済学研究科長

岡田 裕 正



平成30年 2月21日に受理しました本研究科における入学試験個人成績の開示申請について、下記のとおり通知します。

記

平成30年度 第1次募集

試験区分	受験科目名	得点
博士後期課程 (一般社会人)	審査用論文	50点満点中 41点
	小論文	100点満点中 85点
	面接	50点満点中 37点

写真：国立長崎大学博士後期課程入試の得点开示請求による点数（牛山）※学部入試とは比較にならない難易度の試験で9割弱の点数を確保。2時間で約6000文字を執筆する論文試験で、完答し、点数を確保した。※自分の点数を公開できる小論文講師はほとんど存在しない。あなたが受ける小論文指導が机上の空論ではない証拠の一つとして提示。

MBA 上位 5 % 相当の成果

年間 **50** 回の
論文試験を受ける

上位 **5%** の成績



年間 **50** 回
論文試験を受験



継続的な挑戦
分析力を強化



上位 **5%** の成績
全国レベルでの高評価



知識の蓄積と応用
成果を研究・実務に活かす



優秀者奨学金決定通知書

2012 年 9 月吉日

経営学研究科 経営管理専攻
学籍番号 UF110010
氏名 牛山 恭範 様

支給額

あなたは 2011 年度秋期入学者の優秀者奨学金(進級時)の付与が認められましたことをここに通知します。



ビジネス・ブレイクスルー大学
学長 大前 研一



写真：大学院修士課程在籍時に成績優秀者（上位 5% 成績）となった際の書類。あなたが受ける小論文指導が机上の空論ではない証拠の一つとして提示。※自分

の点数を公開できる小論文講師はほとんど存在しない。東大医学部卒、東大博士課程修了者、東大大学院卒の1級建築士以上の論文成績となり、MBAを取得した。



写真：研究者として学会発表に参加する牛山
※牛山は学校法人の小論文の教員もしています。

教育指導実績

当塾の講師は、ハイレベルな世界のトップジャーナルに現役で論文を投稿しています。

早大・慶大オープン 個人成績表

1 (1) 第1志望大学・学部 科目別成績

	配点	満点	得点	偏差値	平均点	順位/受験者数
慶大英語 総合	200	126	126	56.5	107.4	63 / 251
慶大小論文総合	200	160	80	73.1	86.5	1 / 316
						/
						/
総合	400	286	206	69.6	189.1	8 / 326

配点：本人試での「配点」を表示しています。

得点：本模試での共通問題、選択問題を合わせた「得点」を表示しています。

換算得点：得点を本人試配点に換算をかけて表示しています。

偏差値、平均点、順位は換算得点を用いています。

※上記成績表は第1志望に必要な科目のみ表示されます。

1 (2) 第1志望大学・学部 学力分布状況

評価偏差値	人数	□=5人
75.0 ~	0	
72.5 ~	3	□
70.0 ~	3	□
67.5 ~	5	■
65.0 ~	9	□□
62.5 ~	5	□
60.0 ~	26	□□□□□
57.5 ~	28	□□□□□
55.0 ~	24	□□□□□
52.5 ~	42	□□□□□□
50.0 ~	32	□□□□□□
47.5 ~	20	□□□□□
45.0 ~	31	□□□□□□
42.5 ~	27	□□□□□□
40.0 ~	14	□□□□□
37.5 ~	16	□□□□□□
35.0 ~	15	□□□□□
~ 34.9	26	□□□□□□

3 第1志望~第4志望 学力評価

大学 学部・学科 (定員)	第1志望	
	慶應義塾大学 総合政策学部 総合政策	定員 (275)
評価使用 科目得点	科目	配点 換算得点
	英語G 小論文	200 126 200 160
合格可能性 評価	総合	400 286
	A	得点 人数 □=2人
評価別 人数	A	286 ~ 10 ■■■■
		274 ~ 8 ■■
	B	262 ~ 9 ■■
		250 ~ 16 ■■■■
	C	241 ~ 27 ■■■■
		231 ~ 32 ■■■■
	D	221 ~ 36 ■■■■
		221 401 ■■■■
	未満	
	第1志望者	総志望者
順位	8 位 326 人中	9 位 539 人中

評価使用科目得点：当該大学・学部・学科に必要な

2 受験教科・科目別成績 大学・学部別総志望者集計

受験科目	共通問題					選択問題				
	配点	満点	偏差値	平均点	順位/受験者数	配点	満点	偏差値	平均点	順位/受験者数
慶大英語 総合	200	126	56.5	108.1	92 / 326					/
慶大小論文総合	100	80	73.5	43.5	1 / 503					/

【選

A

B

1 (1) 第1志望大学・学部 科目別成績

	配点	得点	偏差値	平均点	順位 / 受験者数
慶大英語 経済	200	111	100	53.4	101.3 / 535 / 1470
慶大日本史経済	150	93	62	67.2	64.6 / 11 / 319
慶大小論文経済	70	54	54	87.9	34.3 / 1 / 1397
合計	420	258	216	60.7	206.6 / 207 / 1472

配点・得点は試験科目の配点・得点を表しています。

偏差値・平均点は模試の偏差値・平均点を表しています。

受験者数は、得点を含む試験科目の受験者数を表しています。

順位は、得点・偏差値・平均点を用いています。

この成績表は第1志望に必要な科目のみを表示します。

1 (2) 第1志望大学・学部 学力分布状況

評価偏差値	人数	□=15人
75.0	4	□
72.5	5	□
70.0	13	□
67.5	17	□□
65.0	43	□□□
62.5	65	□□□□
60.0	92	□□□□□□
57.5	108	□□□□□□□
55.0	136	□□□□□□□□
52.5	132	□□□□□□□□
50.0	146	□□□□□□□□□
47.5	149	□□□□□□□□□
45.0	124	□□□□□□□□□
42.5	119	□□□□□□□□□
40.0	93	□□□□□□□□
37.5	70	□□□□□□□
35.0	47	□□□□□□
34.9	109	□□□□□□□□□

3

大学
学部・学
(定員)

評価使
科目得

合格可
評価

評価
人数

順位

評価使

2 受験教科・科目別成績 大学・学部別総志望者集計

受験科目	共通問題								
	配点	得点	偏差値	平均点	順位 / 受験者数	配点	得点	偏差値	
慶大英語 経済	150	95	57.3	79.3	720 / 3200	30	5		
早大国語 商	120	60	62.2	44.2	809 / 8028	60	28		
慶大日本史経済	75	52	65.2	37.4	43 / 802	25	10		
慶大小論文法	100	50	56.9	41.7	339 / 1893				
慶大小論文経済	70	54	87.0	34.4	1 / 2375				

3年連続で論文成績模試日本一の報告をもらう。論文を指導し、偏差値 87.9 へ上昇などの事例がある。全

国1位、2位、4位、6位など、上位への引き上げ実績多数。

牛山執筆既刊図書のご案内

〈既刊図書〉

牛山執長の小論文入試
研究成果物と問題解決

※ご希望の方はオンライン書店もしくは
図書館をご利用ください。

小論文の書き方・考え方を解説した書籍。〈説明〉従来の小論文の書籍は、肝心の考え方についてほとんど解説がありませんでした。小論文試験は、考えた内容を書く試験であり、単に書く試験ではありません。ところが、正しく考える方法は、一般的にあまり知られていません。そこでその考える点を詳しく掘り下げて解説しています。



〈既刊図書〉

牛山敦長の小論文入試
研究成果物と問題解決

※ご希望の方はオンライン書店もしくは
は図書館をご利用ください。

小論文の技術解説書。



〈既刊図書〉

牛山敦長の小論文入試
研究成果物と問題解決

※ご希望の方はオンライン書店もしくは
は図書館をご利用ください。

小論文試験が難関で知られる慶應義塾大学 SFC 対策
本。



〈既刊図書〉

牛山敦長の小論文入試
研究成果物と問題解決

※ご希望の方はオンライン書店もしくは
図書館をご利用ください。

医療系小論文対策の書籍。

〈説明〉

医療系特有の小論文事情を解説した書籍。看護師の専門学校で小論文の外部講師を務めていた牛山が医療系小論文を解説しました。



〈既刊図書〉

牛山敦長の小論文入試
研究成果物と問題解決

※ご希望の方はオンライン書店もしくは
図書館をご利用ください。

慶應大学の小論文対策本。



東大・早稲田・慶應に受かる
小論文・グループディスカッション

論証
モデル と 論理式 を用いた

**高得点小論文
解法集**

New Argumentative Model
Ushiyama Model (U/M) 牛山 慕範

YELL

〈既刊図書〉

牛山孰長の小論文入試
研究成果物と問題解決

※ご希望の方はオンライン書店もしくは
は図書館をご利用ください。

小論文の解法を体系化した書籍。また、牛山流の解法テクニックを紹介した。

〈説明〉

理解度は受験生によって異なります。理解する難易度が高い内容もあれば低い内容もあります。本書は東大・京大など、トップスクールの受験生を対象としているため、すべての人が簡単に理解できるわけではないかもしれません。また、分かりやすさは一般的に罨でもあります。分かりやすいだけで点数が下がる指導はたくさんあります。



〈既刊図書〉

牛山敦長の面接入試
研究成果物と問題解決

※ご希望の方はオンライン書店もしくは
図書館をご利用ください。

漫画であるために分かりやすい・イメージしやすい面接対策本。



〈既刊図書〉

牛山敦長の受験学習戦略
研究成果物と問題解決

※ご希望の方はオンライン書店もしくは
図書館をご利用ください。

受験戦略提案書。慶應大学を滑り止めとして、上位国立大学を効果的にねらう受験方法アプローチを紹介。

〈既刊図書〉

牛山敦長の総合型選抜入試
研究成果物と問題解決

※ご希望の方はオンライン書店もしくは
図書館をご利用ください。

いわゆる総合型選抜についての事情を紹介する書籍。
この書籍の方法により、国立大学医学部学士編入成功
などの実績もある。専門家の教員であれば、自著で
授業ができます。自著はその領域を専門家として研究
してきたひとつの証拠です。その領域の研究成果が書
籍になっているとご理解ください。

執筆論文

1) 倫理経営の効果発生条 件：クレド経営に注目した
GTA による「倫理の業 績向上プロセス」の分析

- 2) 長期的に見てどの倫理要素が高度成長率企業を生み出すのか（査読あり）
- 3) 人工知能にインプットすべき倫理的行動目標の優先順位に関する提言（査読あり）
- 4) Extraction of the Conditions for Generating Effects of Ethical Management（査読あり）
- 5) “ INTEGRITY STRATEGIES ” Derived from the Perspective of Substantive, Logical and Three-Dimensional Thinking（査読あり）
- 6) 我が国において知的財産 発のイノベーションがなぜ起こらないのか.（査読あり）
- 7) 経営倫理論の研究上の問題点である理解のゆらぎとその問題を克服する西洋・東洋価値体系統合モデル（査読あり）
- 8) 経営倫理の実践から生じたストコーマ理論を土台とした研究・実践同時履行と相互作用効果理論（査読あり）
- 9) The Influence of Group Philosophy Dissemination Rates on the Dissemination of Management Philosophy

【慶應大学小論文過去問題解説 100 年分一気見とは？】－これが慶應 小論文対策最高の方法？－

慶應大学の小論文対策を進めていく際にもっとも効果的であると考えられる勉強法をご提案します。その方法とは、短時間で各学部の小論文を動画解説してもらい、その際に高い点数の小論文講師の説明を聞くことです。その次に高い点数の小論文講師のテキスト解説を読みます。

なぜこの方法が極めて有効であると考えられるのでしょうか。

その理由は、

① すべての動画でテクニックを解説。

そして短時間で要点を解説。(点数が取れるなら要点をつかまえられるはず。)

② すべてのテキストが同じではない。

慶應クラスの過去問題解説は、すべてのテキスト内容が同じではないし、AI に作らせていないので点を取りやすいと考えられます。

③ 成長プロセスに合致しているから。

以下に成長メカニズムを書きます。

1) 小論文の基本構成など、書き方のお手本を頭に入れる。※この際に「正しい」内容と、「高い点数の裏付け」が必要であると考えられます。

2) 小論文の書き方のうち、考え方に関する理想形を複数頭に入れる。

※この際に「点数が取れる考え方」、「正しい考え方・妥当性が高い考え方・正しい結論に至ることができる

上質な考え方」を学びます。

※考え方三流、書き方三流のインプットをすると、その後の学習でいくら練習しても成果が出にくいのでご注意ください。ここでは便宜的に牛山の指導（小論文で平均約9割を取得してきた）を9割インプットと名付けます。

3) 過去問題をやる

※この際に例えば9割点数が取れる講師の考え方・書き方をなぞります。理想形に近づくようになぞるように練習することで過去問題練習の意味が出てきます。反対に下手な方法（3流の書き方・3流の考え方）を練習すると点数が低い状態で固定されるので注意が必要です。

ここでは便宜的に牛山の指導（小論文で平均約9割を取得してきた）を大事にした過去問練習を9割アウトプットと名付けます。

4) (理想的には) 点数が高い先生の小論文添削を受

ける。

ここでは便宜的に牛山の添削（小論文で平均約9割を取得してきた）を9割添削と名付けます。※必ずしも当塾で添削を受ける必要はありませんが、レベルが高い先生にぜひ指導してもらってください。

4) 強く内省する

自分ができたこと、できなかったことについて強く反省し、次のライティングにつなげます。

5) 本を読み、知識を強化する

※学習ツールを工夫して、知識をビルドアップします。

6) 再び過去問題をやる

※練習のやりすぎに意味はありません。9割インプットと9割アウトプットを強く意識して、過去問題の小論文に取り組みましょう。

慶應受験生は月に3回、慶應SFC受験生は月に5回程度の練習が理想です。

キクのは練習ではなく反省、9割インプットに応じた反省なら点数が上がります。低品質な思考、低品質な書き方（間違っているものを含む）で反省するとどんどん点数が下がるのでご注意ください。

※論文指導の免許は一般的には博士号か、博士課程満期単位取得のどちらかです。

練習の正体は正しいもののインプットです。

右	左	白	青	赤
みウユ ぎウ	ひサ だり	しハ ろク	あシセ おヨイ ウ	あセ かキ
right	left	white	blue	red
右	左	白	青	赤

1年生で
ならう
かん字

◇
いろ・むき・大きさ
◇

小	中	大	下	上
おこ ちいさい ショウ	なか ジュウ チュウ	おダイ おおい きい	くさ いだ る ゲカ がる	のぼ あ うえ がる ジョウ
small	medium	large	down	up
小	中	大	下	上

カタカナの音読み
ひらがなのくんよみ

動画はこちら↓



もし次のような書き方で練習していたらどうなるでしょうか。

右	左	白	青	赤
みぎ ウ right	ひだり サ left	しろ ハク white	あお セイ blue	あか セキ red
右	左	白	青	赤

小	中	大	下	上
ちい(さい) ショウ small	なか チュウ medium	おお(きい) ダイ large	した カ・ゲ down	うえ ジョウ up
小	中	大	下	上

悪いお手本の例

下手なお手本の例

お手本の字が下手だと、そのままだと下手な字になつてしまいます。よいお手本を見て書きましょう。

動画はこちら↓



練習すればするほど下手さが固定します。



慶應大学小論文過去問題解説 100年分一気見とは？

for a
better society

高得点講師の説明を大量に吸収し、過去問→添削→反省で伸ばす学習法



動画解説を見る



テキスト解説を読む



過去問で実践

小論文の成長メカニズム

1



基本構成を入れる
正しい書き方の土台を作る

2



考え方の理想形を入れる
点数が取れる思考を学ぶ

3



過去問題をやる
良い思考・良い書き方をなぞる

4



高得点の先生の添削
自分のズレを修正する

5



強く内省する
反省が次の成長をつくる

6



再び過去問題をやる
反復より“質の高い反省”が大切

9割
インプット



9割
アウトプット



9割
添削



この3つを軸に、反省を重ねるほど点数が上がる



注意

- 低品質な思考で練習しない
- 練習量より、反省の質が重要
- 目安：慶應受験生 月3回／SFC受験生 月5回

結論
CONCLUSION

「正しい方法」・「優れた技術」を学び
再現練習すれば強く高く成長する

平均約9割取得、博士課程満期単位取得、全国小論文
1位の報告3年連続、解答例作成者・指導者の点数公
開の講師による過去問解説は恐らくここだけです。

【慣れの正体】

なれとはできなかったことができるようになることです。従って小論文でも過去問題に慣れたら点数が上がると思い込んでいる人がいます。

慣れには大きく二つあり、方法に慣れることと、過去問題に慣れることの二種類があります。

過去問題には慣れるとよいでしょう。しかし、この際に、約9割取れる方法で慣れるのと、5割も点数が取れない方法に慣れるのではどちらがよいのでしょうか。

言うまでもありません。高い点数の方法・アプローチに慣れると高い点数になりやすくなるでしょう。

慣れの質が、 得点を決める

同じ「慣れ」でも、慣れる方法が違えば結果は大きく変わる



方法に
慣れる



過去問題に
なれる



試験会場での
出力

3割の方法に慣れた場合



3割の方法に慣れる

応用問題を3割の方法で
解くことに慣れる

低得点



9割の方法に慣れた場合



9割の方法に慣れる

応用問題を9割の方法で
解くことに慣れる

高得点



同じ「慣れ」でも、
慣れる方法が違えば
結果は大きく変わる

【危険な書き方に注意】

小論文の書き方について筑波大学名誉教授はその著書「論文のレトリック」の中で、構文を用いた小論文解法を強く批判しています。

同様に、立教大学石川教授はその著書「いい文章ってなんだ」という本の中で、学生が書く構文に皆教員は辟易としていると述べています。

構文には以下のような特徴があるでしょう。

- ① 論文のフォーマットではないテーマに文章をあてはめていくもの。
- ② 「確かに～」などの文章を用いてここに文章をはめていくもの。
- ③ 反論に対する再反論など必須ではない行為を定型化して型とするもの。

論文の基本構成に「原因」や「対策案」は入らないので注意してください。大学から求められた場合にのみ

対策案を述べましょう。

論文には本来書き方が存在しますが、それは世界中の大学で共有されている「アカデミックライティング」と呼ばれる論文の基本構成を土台としたものです。

特に大学ではこの世界標準の論文構成を重視して学生指導を行う傾向が強く、この基本構成から外れた文章を「不正解的な作文・エッセイ・ひどい場合にはポエム」として、低く評価する文化があります。

それでは、論文の書き方の正解として筑波大の名誉教授は何と答えているかと言えば、それは序論・本論・結論であると述べています。

以下に、論文の基本構成と評価されやすい書き方を紹介します。

序論：問いを立てる

本論：仮説に対する論証を行う

結論：結論を書く

時折様々な塾で、小論文の書き方がまるで必殺技のよ

うに紹介されており、教育機関オリジナルの小論文解法・小論文の書き方が強く推奨されることがありますが、極めて危険であると考えられます。合格者が出ていると思う人もいるかもしれませんが、一般的に宣伝費が増えれば合格者は出ます。合格者の意味は不合格者の多い少ないで全く異なることに注意してください。また、巷で宣伝される異常に高い合格率についても、きちんとグーグルや AI で、塾の合格率に潜む危険性について調べることを強くお勧め致します。

その理由は、論文の基本構成を守らない文章は、高校生が感じている以上に極めて強く評価を下げるためです。このことを知らない受験生（高校生なら知らなくて当然なのですが）を相手に、各種 SNS などで手っ取り早く差別化したい塾・予備校によるオリジナル構文が推奨されることが多いようなので、注意喚起しておきます。

また、このような事情は広く日本の全学生に共有されるべき情報であると思われるので、心ある方は、当塾のこれらのメッセージを SNS などで拡散してくだ

さい。

構文にはめる小論文は危険

世界標準の“論文の基本構成”を土台に考える

Think
Deeply
Write Freely

—— 本質を学び、真に伝わる文章を。 ——

BETTER
THINKING
A BRIGHTER
FUTURE

1 なぜ構文型が危険なのか



① テーマに文章を無理にはめる



② 「確かに～」など定型句に依存する



③ 必須でない再反論まで型にする



型を先に決めると、問いを読む力が弱くなる

2 大学が重視する書き方



ACADEMIC
WRITING
FOR A BRIGHTER
SOCIETY



- 『論文のレトリック』では、構文的な解法を強く批判
- 石川教授『いい文章ってなんだ』でも、構文答案への違和感が示される

アカデミックライティングの基本



① 序論
問いを立てる



② 本論
仮説に対する論証を行う



③ 結論
結論を書く

3 注意すべきこと



独自構文＝正解、とは限らない



合格者数だけでは質は判断できない



高すぎる合格率は中身まで確認する



宣伝より、答案の質と論理の質を見る

4 結論

TRUE LEARNING
LASTS A LIFETIME



小論文は“**必殺技**”ではなく、“**論文の基本**”で書く

正しい方法と優れた技術を学べば、
—— 強く高く成長できる ——

A DEEPER MIND A BRIGHTER TOMORROW